

第1回 練馬区立春日町保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和7年3月18日（火）午後2時～午後3時

練馬区役所本庁舎 19F 1902 会議室

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局（保育計画調整課長）

- 1 開会 選定委員会委員長（こども家庭部長）あいさつ
選定委員会の設置について
委嘱状交付
- 2 議題
 - (1)練馬区立保育園の運営業務委託について
 - (2)選定方針について
 - (3)春日町保育園の概要について
 - (4)募集要項および審査基準表について
- 3 その他
今後のスケジュールについて
- 4 閉会

第2回 練馬区立春日町保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和7年4月24日（木）午前9時～午前11時

28日（月）午前9時～午前11時

春日町保育園

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局（保育計画調整課長）

- 1 開会
挨拶・委員紹介
- 2 園見学
- 3 閉会

第3回 練馬区立春日町保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和7年6月5日（木）書面開催

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局（保育計画調整課長）

- 1 一次審査について
一次審査基準表により、上位5事業者を二次審査の対象とした。

第4回 練馬区立春日町保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和7年7月10日（木）午後2時～午後4時

練馬区役所本庁舎 地下 多目的会議室

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局（保育計画調整課長）

- 1 選定委員会委員長あいさつ
- 2 経営診断報告
事務局より経営診断報告の説明
経営診断結果により、応募事業者の経営状況について確認
- 3 現地調査部会報告
現地調査部会より、応募事業者が運営する保育園の運営管理、保育内容、
施設管理・環境整備、給食運営、保健業務の各項目について報告
- 4 二次審査（事業者の絞り込み）
二次審査では、提出書類や経営診断報告、現地調査報告に基づき、各応募事業者
を相対的に比較し、3事業者を最終審査の対象とした。
- 5 今後のスケジュールの確認

第5回 練馬区立春日町保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和7年7月24日（木）午後1時45分～午後5時15分

本庁舎20階 交流会場

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局（保育計画調整課長）

1 応募事業者プレゼンテーション

運営業務委託に応募した3事業者によるプレゼンテーションを、それぞれ35分
（事業者のアピール10分・質疑応答25分）行った。

なお、春日町保育園の保護者に後日公開するため、動画を録画した。

後日3名の保護者が視聴した。

《保護者からの質問事項に対する回答》

質問 不適切保育についての予防と、発生した場合の対応についてお答えください。

事業者A：（貴静会）

不適切保育は、職員個人の判断になりがち。職員会議や研修でのグループワークを実施し、何が良いのか・ダメなのかを共有している。実際に発生した場合は、園だけでなく、即座に法人全体で臨時会議を開催し対応する。

事業者B：

不適切保育の報告は本部長となっており、園長に言いづらい場合は法人の窓口がある。園で職員同士が日頃から話し合える環境作りを心掛けている。何が不適切保育なのか、グループワーク等で保育士の意識を更新している。

事業者C：

不適切保育は、職員の人数の余裕がないために起こると考えている。十分な職員配置や職員同士の関係性を良くすることで、不適切保育を減らすことにつながると考えている。月に一度のチェックリストを行い、クラスで話し合いを実施している。

質問 職員採用時の日本版 DBS の活用など、性暴力防止のための取組を教えてください。

事業者 A : (貴静会)

子供たちには、何がいけないことなのかを伝えている。職員にはグループワーク等を実施。保育においても、着替えの場を男女で分けるなどの配慮を実施している。

事業者 B :

日本版 DBS があることは承知しているが、現状は利用せずに採用をしている。

事業者 C :

日本版 DBS でのチェックだけでなく、人柄を見て、採用前に保育ボランティアをしてもらっている。

質問 就学時に小学校へスムーズに移行するための工夫を教えてください。

事業者 A : (貴静会)

ちびっこ先生という卒園児が遊びに来る取組を行っている。異年齢保育を大切に、小学校に行っても顔なじみのお友達がいることで子供だけでなく、保護者の安心にもつながっている。近隣の小学校や学童保育への訪問・交流を実施している。

事業者 B :

園によって取組は異なるが、運動会・夏祭りへの招待などを実施している。小学校に上がっても園に遊びに来れるようにしている。

事業者 C :

夏休みのお手伝い保育を募集し、小学生や中学生に園に来てもらっている。地域で園を応援してもらおう仕組み作りをしている。

2 園長候補者等ヒアリング

運營業務委託に応募した 3 事業者に対するヒアリングを、それぞれ 25 分（園長候補者のアピール 5 分・質疑応答 20 分）行った。

第6回 練馬区立富士見台こぶし保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

※ 富士見台こぶし保育園の応募事業者プレゼンテーションおよび園長候補者等ヒアリングを実施した。

第7回 練馬区立石神井町さくら保育園・東大泉第二保育園
運營業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

※ 石神井町さくら保育園・東大泉第二保育園の応募事業者プレゼンテーション
および園長候補者等ヒアリングを実施した。

第8回 練馬区立春日町保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和7年8月5日（火）午前9時30分～午前11時

8月7日（木）午前9時30分～午前11時

8月8日（金）午前9時30分～午前11時

事業者A・B・C運営園

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局（保育計画調整課長）

- 1 開会
挨拶
- 2 事業者運営園視察
- 3 閉会

第9回 練馬区立春日町保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和7年8月27日（水）午前10時～午前12時

本庁舎20階 交流会場

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局（保育計画調整課長）

事業者の選定について

審査基準表の「A 提出書類等審査」、「B 現地調査・現地視察審査」、「C 園長候補者等ヒアリング審査」の項目ごとに評価し、事業者の選定を行った。

《主な意見》

事業者A：（貴静会）

- ・ 地域の子育て支援に力を入れており、実績がある。
- ・ 職員を手厚く配置し、チームワーク良く保育が行われている。
- ・ 園長候補者は園長としての十分な経験があり、親しみやすい雰囲気、職員との信頼関係を築いている。

事業者B：

- ・ 子どもに対して丁寧な保育が行われており、園内は子どもが安定して過ごしやすい環境設定である。
- ・ 法人全体で練馬区の保育を学ぼうとする真摯な姿勢がみられる。
- ・ 園長候補者は謙虚で真摯な人柄で、保育内容や保育環境に対しても良いこだわりを持っている。

事業者C：

- ・ 地域交流に多くの人が集まる保育園である。
- ・ 都会の園とは思えない自然を取り入れた環境は魅力ある。
- ・ 乳児の環境設定について、より一層の工夫が求められる。

評価の結果、最終審査を行った3事業者は、区の選定基準（1,000点中700点）を上回った。合議の結果、事業者A（社会福祉法人貴静会）を春日町保育園運営業務委託候補事業者として選定した。